



ボランティア

日本全国から 支援の手



▶床下に流れ込んだ泥の撤去作業



◀災害ボランティアセンター
で受付をするボランティア
のみなさん



◀土砂災害で発生した災害ごみの分別



▲災害ごみの運び出しと分別

8月29日に災害ボランティアセンターが設置されると、33都道府県から延べ1,177人のボランティアのみなさんに支援をいただきました。

今回はボランティア派遣要請をスムーズに受け付けるための「ニーズ票」を作成。市民のみなさんからの多岐にわたる依頼に対し、必要な人員を配置することができました。

学生のみなさんや東日本大震災、西日本豪雨などの災害を経験された人など、多くのみなさんにご支援いただきました。ご協力ありがとうございました。



【災害時に活躍した消防団】

まつおかしんいち くらどみあき お
副団長 松岡伸一さん 倉富明男さん

8月27日から3日間にわたって、土砂災害の影響がある民家での土のう積みや崩落した場所へブルーシートを張るといった活動を行い、多くの団員がそれぞれ本職のある中でも駆けつけてくれました。

今回の災害時では避難誘導の際に、市民のみなさんからくわしい情報を得て、さらなる被害を知ることもありました。こうして地域に密着した活動ができることは、消防団の最大の強みだと思います。これからも地域の防災・減災のために尽力します。



防災のためのチェックポイント

- ハザードマップの確認
- 情報の収集
- 各家庭にあった持ち出し袋や備蓄品の準備
- 早めの避難
- 家族の安否確認方法
- 家具の置き方
- 被災後の撮影



4月に全戸配布した新しいハザードマップで、自宅周辺の環境や避難経路などを確認しておきましょう。ハザードマップは市ホームページからもご確認いただけます。家具が倒れてけがをしないよう、あらかじめ工夫して設置することも防災につながります。

災害が発生し、避難を促す放送を聞いたたら、早めの行動を心がけましょう。災害発生後、自宅などが被災した場合は、後の罹災証明のためにその状況を撮影しておくことも重要です。

つい「自分は安全だろう」と思ってしまいがちですが、もしもに備え、普段の生活から防災を意識しましょう。

★「災害義援金」の第1次配分を行います

災害義援金配分委員会が配分対象者や配分額、申請の受付などを審議、決定しました。

佐賀県から配分された義援金
多久市に寄せられた義援金
9件
3,056,000円
2,336,397円
(11月5日現在)

配分対象および配分額

一部損壊世帯（床上浸水）	半壊世帯
26,000円	130,000円

※市に寄せられた義援金の約80%を県の配分金に上乗せ

